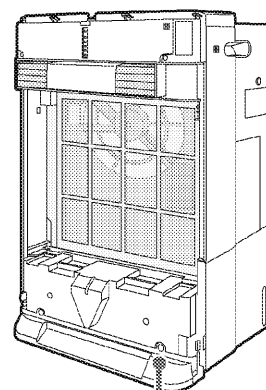
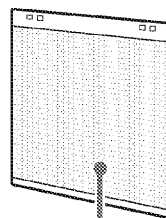
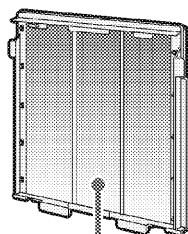
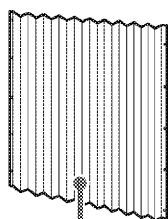
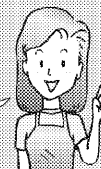
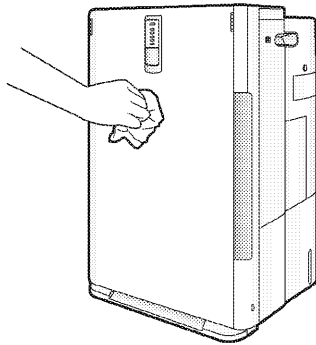
各部のお手入れのしかたは
▶28～38ページを参照してください。

| 5 空清フィルター（プリーツフィルター） | 6 脱臭触媒ユニット | 7 バイオ抗体フィルター | 本体・センサー用空気取入れ口 |
|---|---|---|---|
|  |  |   |  |
| 「空清フィルター」ランプが点灯または点滅したら | 汚れの気になるとき | 開封後約1年で | ホコリなどで目づまりしたら |
| 交換 水洗い不可 | そうじき 水洗い不可 | 交換 水洗い不可 | そうじき ふき取り |
| ▶31ページ | ▶29ページ | ▶16ページ | ▶28ページ |

| 脱臭カートリッジ「ニオイとる～ぶ」 | 洗える内ポケット |
|---|---|
| 洗剤不可 | |
| 汚れやホコリなどがたまったら | 汚れの気になるとき |
| そうじき つけおき | 水洗い |
| ▶29ページ | ▶29ページ |

| 加湿フィルター | 水車と水タンク |
|---|---|
| 1ヵ月に1度またはニオイや汚れが気になるとき | 給水のたびに |
| つけおき | 水洗い |
| ▶37ページ | ▶36ページ |
| 「加湿フィルター」ランプが点灯または点滅したら交換してください。▶38ページ | |

# 各部のお手入れ

## 前面パネルの掃除 ふき取り

- 水で湿らせた布またはティッシュなどで汚れをふき取ってください。
- 汚れがひどいときは液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。
（洗剤が残らないようにふき取ってください。）

**ご注意**

- 硬いタワシなどを使用しないでください。
傷の原因になることがあります。

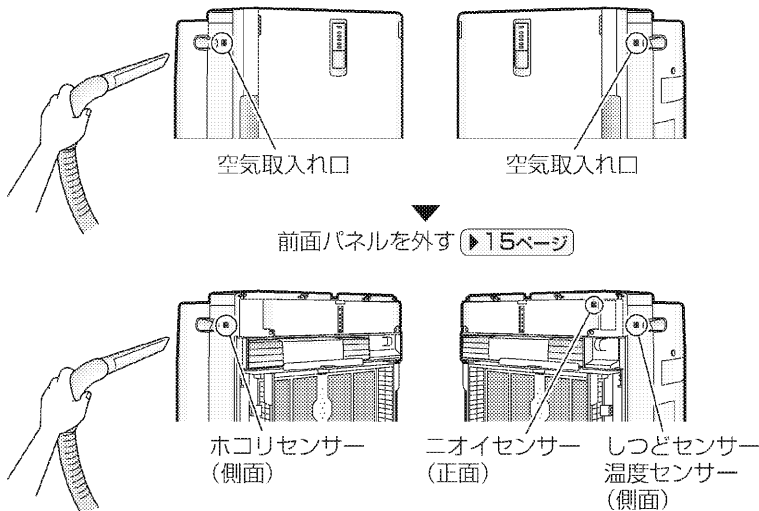
**⚠ 警告**

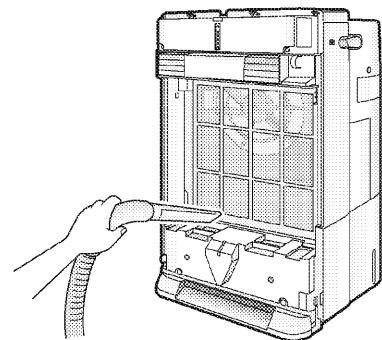
- ガソリン、ベンジン、シンナー、ミガキ粉、灯油、アルコールなどは使用しない。
（ひび割れ・感電・引火の原因）
- 本体を水洗いしない。
（感電や火災・故障の原因）

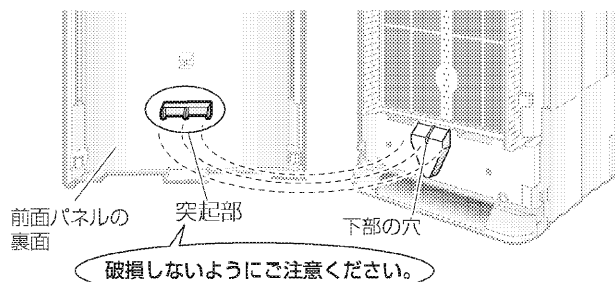
## センサー用空気取入れ口の掃除 そうじき
## （ホコリ・ニオイ・温度・しつどセンサー）

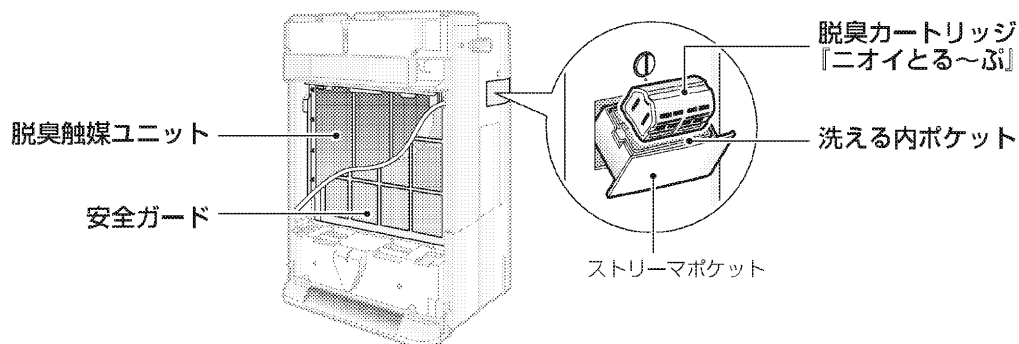
- 掃除機のすきま用ノズルなどを使用して、センサー用空気取入れ口と各センサーの穴に付着したホコリを吸い取ってください。

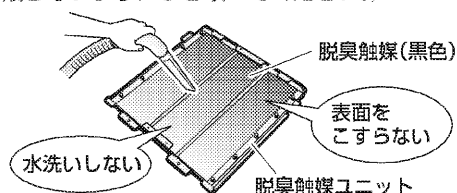
▼

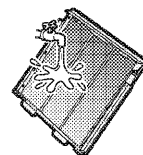
前面パネルを外す ▶15ページ

## 本体の掃除 そうじき ふき取り

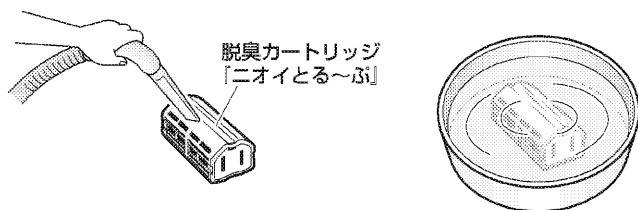
- ホコリなどがたまったら、掃除機で吸い取ってください。
- 本体は水で湿らせた布またはティッシュで汚れをふき取ってください。

**お願い**

- 取り外した前面パネルは、表面が傷付いたり、裏面の突起部が破損しないように注意してください。
**裏面の突起部は、パネルを開くと電源が「切」になる安全スイッチの役目をしています。**
破損しますと、運転ができなくなりますのでご注意ください。

**⚠ 警告**

- 本体下部の穴の奥には触れない。
（感電のおそれ）
- 誤って破損し、運転できなくなった場合は、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。 ▶49ページ

## 脱臭触媒ユニットの掃除 そうじき 水洗い不可 交換不要

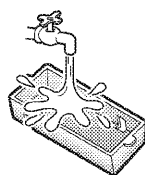
- 脱臭触媒ユニットを外して掃除機でホコリを吸い取る。
- 表面をこすらないでください。
- 脱臭触媒ユニットの取外し・取付けかたは、空清フィルターの交換を参照してください。▶31，32ページ
- 枠の汚れが気になる場合は、水で湿らせた布またはティッシュなどでふき取ってください。
  汚れがひどいときは、液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。
  （洗剤が残らないようにふき取ってください。）

**水洗いしない**

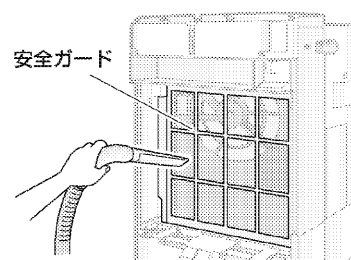
- 水洗いすると使用できなくなります。

## 脱臭カートリッジ『ニオイとる～ぷ』の掃除 そうじき つけおき 洗剤不可

- ホコリなどがたまったら、掃除機で吸い取る。
- 脱臭カートリッジの汚れが気になる場合は、ぬるま湯または水につけおきし（約 10 分）、
  水気を切り、風通しのよい日陰で乾燥させる（約 1 日）。

**ご注意**

- 脱臭カートリッジ『ニオイとる～ぷ』は分解しないでください。
- 洗剤、薬品などは使用しないでください。（脱臭能力が低下します。）

## 洗える内ポケットの掃除 水洗い

- 内ポケットは取り外して洗うことができます。
- 汚れが気になるときや、設置場所の異なる脱臭カートリッジを再生するときは水洗いしてください。
- 汚れがひどいときは、やわらかいブラシや液体中性洗剤を使って洗い、洗剤が残らないように十分すすぎ洗いをしてから風通しのよい日陰でよく乾かしてください。

## 安全ガードの掃除 そうじき

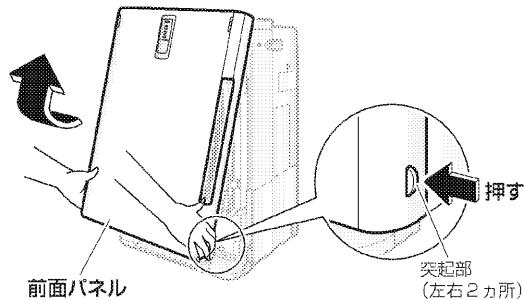
- ホコリなどがたまったら、掃除機で吸い取る。

**⚠ 注意**

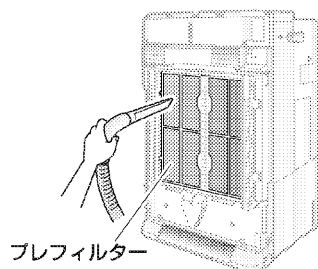
- 安全ガードは外さない。（感電・けがの原因）

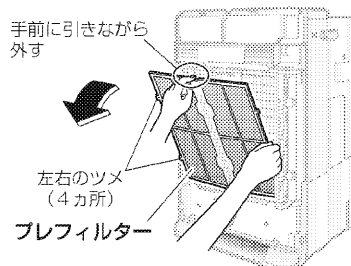
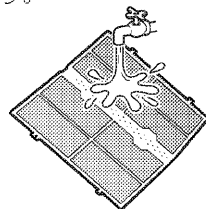
# 各部のお手入れ

## プレフィルターの掃除（2週間に1度がめやす）そうじき 水洗い

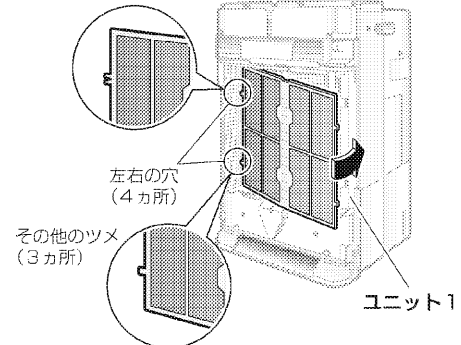
**1 前面パネルを外す。**

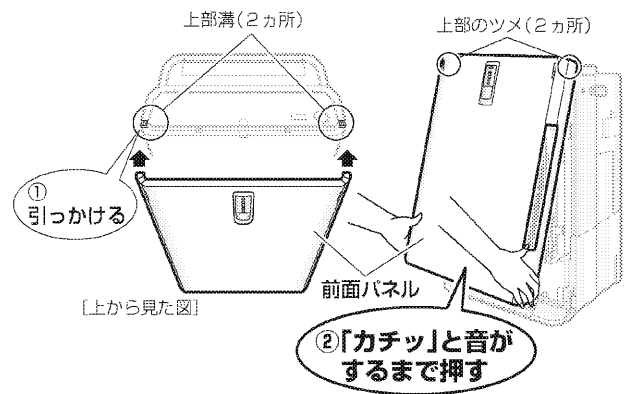
- 突起部（左右２ヵ所）を押して、手前に引き上げ、取り外す。

**2 プレフィルターを掃除する。**

- 掃除機でホコリを吸い取る。

**3 （汚れがひどいとき）プレフィルターを水洗いする。**

- プレフィルターの上部の凹部に指を引っかけて手前に引き、プレフィルターの左右のツメ（4ヵ所）をユニット１の左右の穴（4ヵ所）から外す。

- やわらかいブラシや液体中性洗剤を使って洗い、洗剤が残らないように十分すすぎ洗いをしてから日陰でよく乾かす。

水滴が残っていると「ユニット１」ランプが点灯する場合がありますので、十分に乾かしてからご使用ください。

**4 プレフィルターを取り付ける。**

- プレフィルターの左右のツメ（4ヵ所）をユニット１の左右の穴（4ヵ所）に合わせて差し込む。

**5 前面パネルを取り付ける。**

- 上部のツメ（2ヵ所）を本体上面の溝に引っかけてパネルを閉じる。

前面パネルが正しく装着されていないと安全スイッチが作動し、運転しない場合があります。 ▶28ページ

## 空清フィルター（プリーツフィルター）の交換 水洗い不可

交換 ○加湿フィルター ◘空清フィルター
リセット（2秒押し） リセット（2秒押し）

空清フィルターランプ点灯または点滅 **交換**

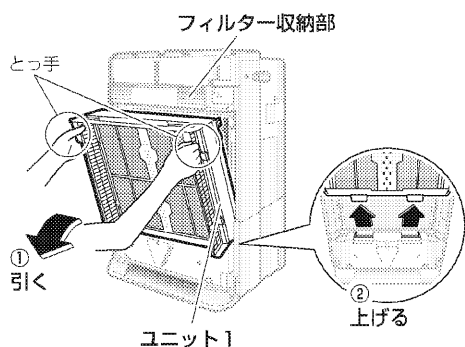
空清フィルターは、空清フィルターランプが点灯・点滅するまで交換は不要です。

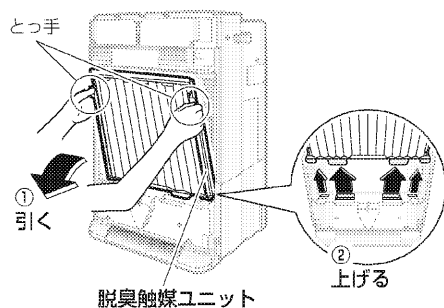
**⚠ 警告**

- お手入れの前には必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

### 1 前面パネルを外す。 ▶30ページ

### 2 ユニット１を外す。

- とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

### 3 脱臭触媒ユニットを外す。

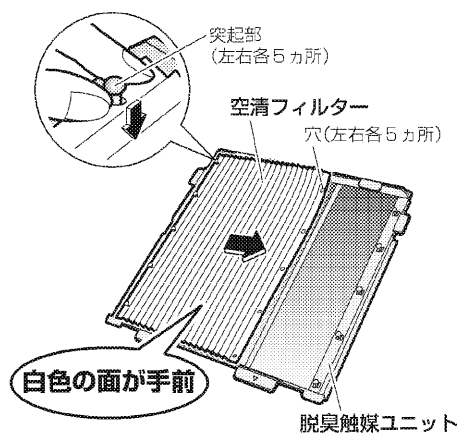
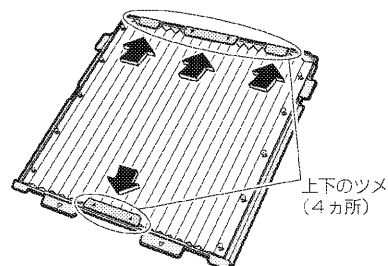
- とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

### 4 空清フィルターを新しいものと取り替える。

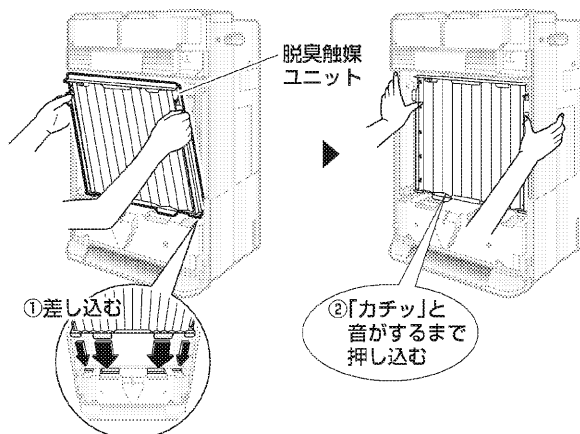
①使用済みの空清フィルターを外す。

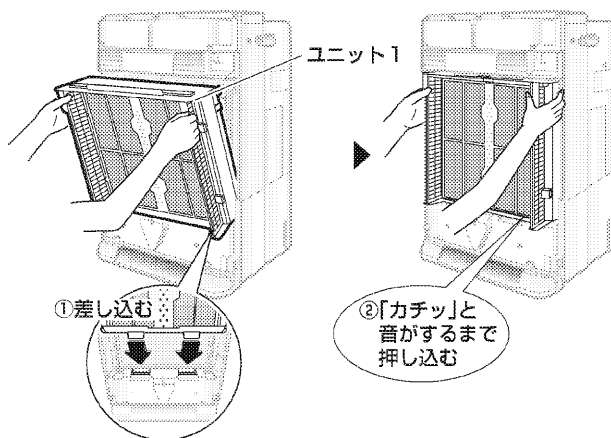
- 脱臭触媒ユニット（表側）の左右にある突起部（各５ヵ所）から空清フィルターを外す。

②フィルター収納部から新しい空清フィルター（１回分）を取り出し、脱臭触媒ユニットに取り付ける。

空清フィルターは白色の面を手前にして取り付けてください。

- 空清フィルターの左右の穴（各５ヵ所）を脱臭触媒ユニットの左右にある突起部（各５ヵ所）に引っかける。

- 空清フィルターを脱臭触媒ユニットの上下のツメ（４ヵ所）の下に差し込む。

## 5 脱臭触媒ユニットをもとどおり取り付ける。

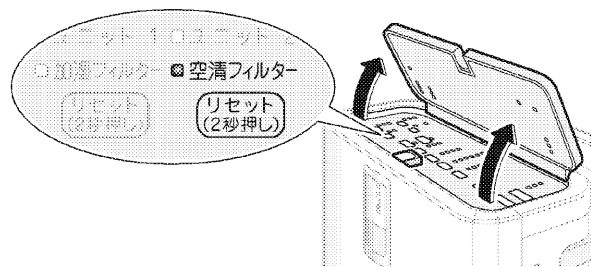
- とっ手を持ち、本体下部の溝（４ヵ所）に脱臭触媒ユニットの突起部を差し込んで、本体へ押し込む。

## 6 ユニット1をもとどおり取り付ける。

- とっ手を持ち、本体下部の溝（2ヵ所）にユニット1の突起部を差し込んで、本体へ押し込む。

## 7 前面パネルをもとどおり取り付ける。

▶30ページ

## 8 電源プラグを差し込む。

## 9 空清フィルターリセットボタンを2秒間長押しする。

（「ピッピッ」と音が鳴り、空清フィルターランプが消えます。）

- 空清フィルターを交換しても、空清フィルターリセットボタンを2秒間押さなければ空清フィルターランプは消灯しません。

### 空清フィルターの交換

- 交換用の空清フィルターはお買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にお申し込みください。▶50ページ
- 空清フィルターは、空清フィルターランプが点灯・点滅するまで交換は不要です。
  空清フィルターが汚れていなくても、空清フィルターランプが点灯・点滅した場合は、空清フィルターを交換してください。見ための汚れとフィルターの性能は比例しません。
- 空清フィルターの交換時期は、使いかたや設置場所により異なります。
  空清フィルターランプは、タバコを1日10本吸うご家庭で毎日使用した場合、約2年で点灯します。
  （空気の汚れが多いところでご使用の場合は、交換時期が早くなります。）
- ご使用済みの空清フィルターは不燃物ゴミとして処分してください。（材質：ポリプロピレン／ポリエステル系不織布）
  詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法にしたがってください。
- 汚れやニオイが気になって、空清フィルターランプが点灯する前に交換したときは、空清フィルターリセットボタンを2秒間押してください。

## ユニット1（プラズマイオン化部）の取外し・取付け

ご注意

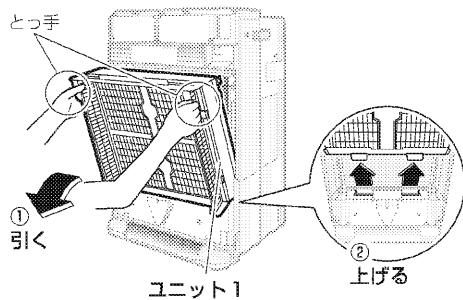
● 対向極板の取外し、取付けの際は**ゴム手袋**を使用してください。対向極板、イオン化線で手を切るおそれがあります。

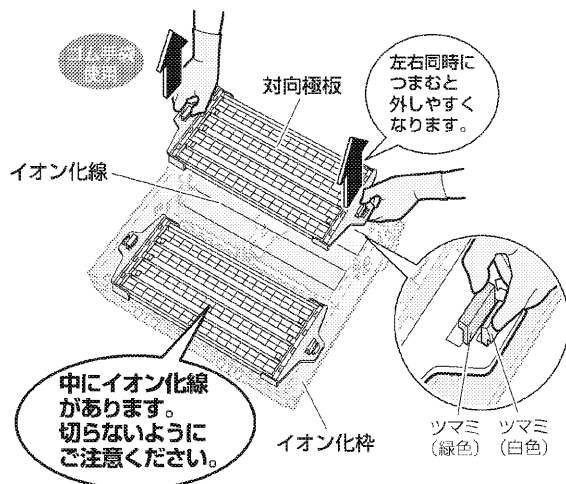
### 取外し

**1 前面パネルを外す。** ▶30ページ

**2 プレフィルターを外す。** ▶30ページ

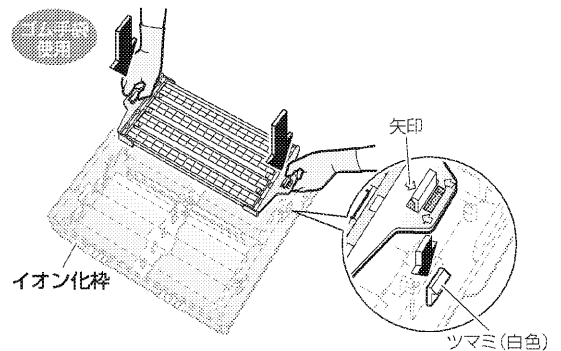
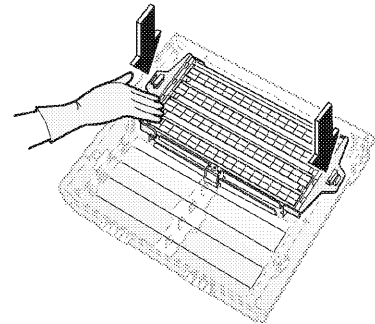
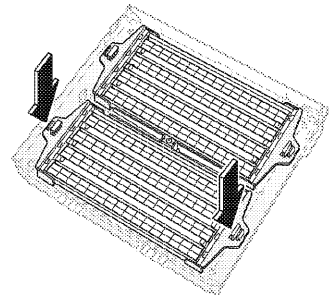
**3 ユニット1を外す。**

● とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

**4 ユニット1の裏側にある対向極板を外す。**

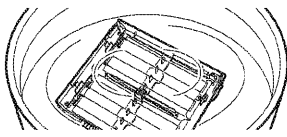
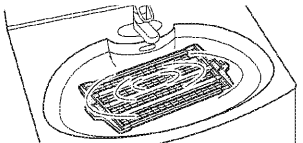
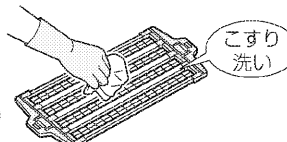
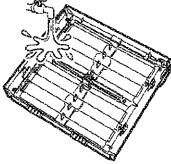
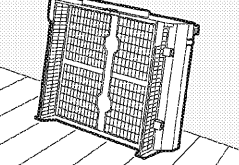
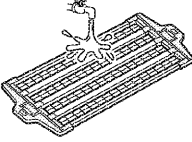
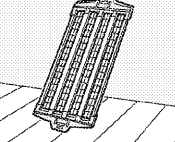
● 白色と緑色のツマミ部（左右2ヵ所）を同時につまんで、対向極板を持ち上げて外す。

### 取付け

**1 対向極板を取り付ける。**

①イオン化枠のツマミ（左右2ヵ所）に対向極板を差し込む。

> 対向極板には上下・左右の区別はありません。
> 矢印が見える状態で取り付けてください。

②「カチッ」と音がするまで確実に押し込む。

③もう片方の対向極板も取り付ける。

**2 ユニット1** ▶32ページ **とプレフィルターと前面パネル** ▶30ページ **をもとどおり取り付ける。**

# 各部のお手入れ

## ユニット1（プラズマイオン化部）・ユニット2（ストリーマユニット）の掃除

洗浄 ユニット 1 ユニット 2

ユニットランプ点灯 つけおき

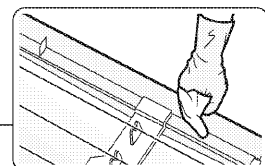
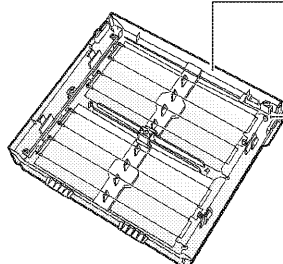
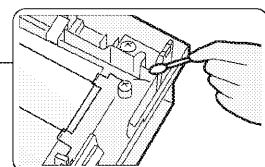
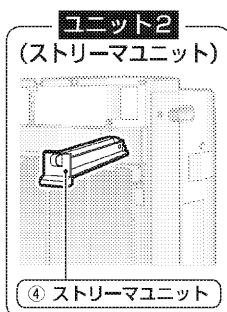
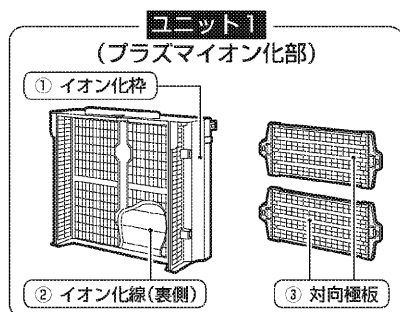
汚れが気になる場合は、ユニットランプが点灯していなくてもお手入れしてください。

**⚠ 注意**

- お手入れの前には必ず運転を停止して電源プラグを抜いてください。
- ふき取りやこすり洗いの際は、**ゴム手袋**を使用してください。
  対向極板、イオン化線、ストリーマユニットの針で手を切るおそれがあります。

| 内容 | ユニット1 | | |
|---|---|---|---|
| | ① イオン化枠 | ② イオン化線 | ③ 対向極板 |
| 各部品を取り外す。 | ▶33ページ | | ▶33ページ |
| 掃除機などで表面のホコリを吸い取る。 吸い取る ▼ | | | |
| ぬるま湯または水につけおきする。（約1時間） ぬるま湯・水 つけおき ▼ | | | |
| 布またはやわらかいブラシなどで汚れを落とす。 ゴム手袋を使用してください 汚れを落とす ▼ | ふき取る ゴム手袋使用 （詳細は下図①②） | | こすり洗い ゴム手袋使用 |
| 流水ですすぎ水気を切る。 ▼ | | | |
| 風通しのよい日陰で乾燥させる。（約1日） ▼ | | | |
| 各部品を取り付ける。 | ▶32ページ | | ▶33ページ |

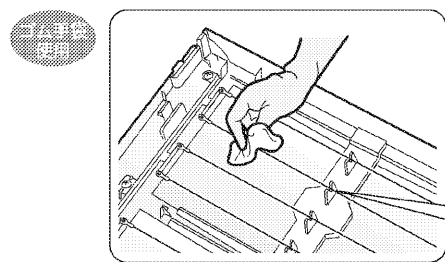
①イオン化枠（つけおき後、乾燥する前に行ってください。）

- やわらかい布で樹脂部の汚れを落としてください。
- 凹凸があり指が入りにくい部分は綿棒などで汚れをふき取ってください。
- 布などのせんいクズが残らないようにしてください。
  誤作動の原因になります。

ゴム手袋使用

凹凸がある部分は綿棒などで汚れをふき取ってください。

**⚠ 注意**

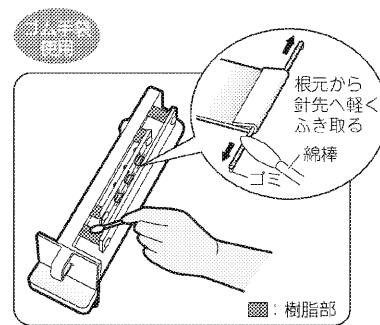
■ 対向極板の奥には、イオン化線があります。取付け、取外しの際はこのイオン化線を切らないように注意してください。
- イオン化線が切れたまま運転すると、「ユニット 1」ランプが点灯します。「ユニット 1」ランプが点灯中は集じん能力が低下します。
- 誤ってイオン化線が切れてしまったときは、交換が必要ですので、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。(お客様自身では交換しないでください。)▶49ページ

| ユニット2<br>④ ストリーマユニット | 注意点 |
|---|---|
| 前面パネルを開けストリーマユニットを引き出す。 | |
| | ● イオン化枠やストリーマユニットのネジを外さないでください。故障の原因になります。 |
| | ● 必ず浴室や台所のシンクなど、ぬれてもよい場所で行ってください。<br>● 汚れがひどいときは、台所用洗剤などの液体中性洗剤を溶かしたぬるま湯または水につけおきしてください。<br>● 液体中性洗剤は洗剤の注意書で決められた量で使用してください。 |
| ゴム手袋使用 ふき取る (詳細は下図④) | ● 粉末洗剤やアルカリ性・酸性洗剤を使用したり、硬いタワシなどでこすらないでください。変形、破損の原因になります。<br>● ユニット2(ストリーマユニット)の中の針が変形すると脱臭能力が低下します。 |
| | ● 洗剤が残っていると、お手入れ後も「ユニット 1」・「ユニット2」ランプが消えないことがありますので、十分に水洗いしてください。<br>● 布などのせんいクズが残らないようにしてください。誤作動の原因になります。<br>● 直射日光にあてると樹脂部が変色、変形することがあります。<br>● 少しでも水分が残っていると、お手入れ後も「ユニット 1」・「ユニット2」ランプが消えないことがありますので、日陰でよく乾かしてください。 |
| もとどおり取り付ける。 | |

## ② イオン化線

- やわらかい布でイオン化線と周辺の樹脂部の汚れを落としてください。

イオン化線は、軽くふいてください。
強く引っぱると切れるおそれがあります。

## ④ ストリーマユニット

- 針にゴミが付着している場合は、綿棒などのやわらかいもので軽くふき取ってください。
- 綿棒またはやわらかい布で内側の樹脂部(▒部)の汚れを落としてください。
- ネジは外さないでください。

針が変形すると脱臭能力が低下します。

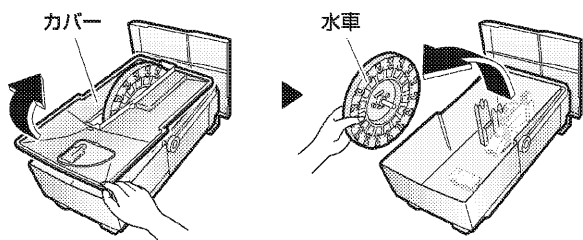
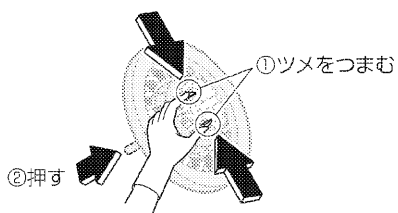
# 各部のお手入れ

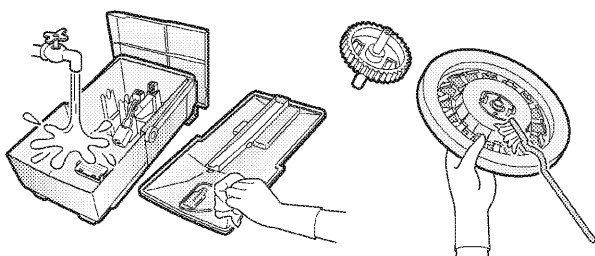
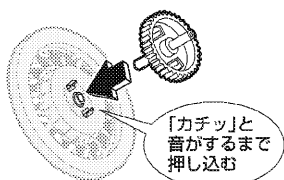
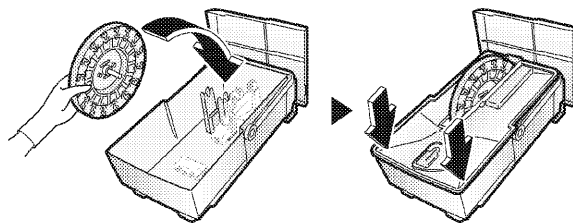
## 水車と水タンクの掃除（給水のたび）水洗い

**ご注意**

- お手入れの際にはゴム手袋を使用してください。水車で手を切るおそれがあります。

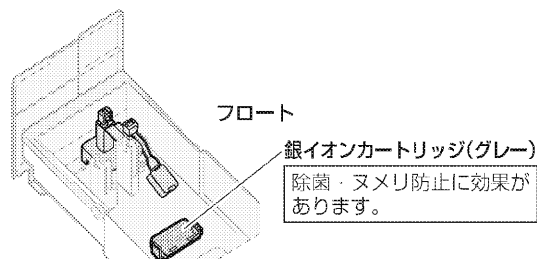
**1** **水タンクを外す。** ▶17ページ

**2** **水タンクのカバーを外して、水車を外す。**

**3** **水車の軸を外す。**

**4** **水タンク、カバー、水車を水洗いする。**

- 水アカで汚れているときは、クエン酸を溶かしたぬるま湯または水（37ページ**水アカ（白い固まり）が取れにくいとき**を参照）に浸したやわらかい布やブラシで水アカを取り除き、水洗いしてください。

**5** **水車に軸を取り付ける。**

**6** **水タンクに水車とカバーを取り付ける。**

**7** **水タンクを取り付ける。**

▶17ページ

**お知らせ**

- フロートや銀イオンカートリッジは外さないでください。
- フロートを外すと、加湿、除湿運転ができなくなります。銀イオンカートリッジ（グレー）を外すと、除菌・ヌメリ防止の効果が得られなくなります。

### フロートが外れた場合

- 以下の手順と図を参考にもとどおり取り付けてください。

①フロート内部にフロート外部を重ねる。
②ツメ1（1ヵ所）をタンクに取り付ける。
③ツメ2（2ヵ所）を「カチッ」と音がするまで固定部に押し込む。